

区分・種別	名勝		
名 称	おもごけい 面河溪		
所 在 地	上浮穴郡久万高原町		
所 有 者	農林水産省ほか	管 理 団 体	愛媛県
指定年月日	昭和8年2月28日		
解 説	面河溪は、節理が見られる岩石、それに屏風岩・兜岩・鎧岩などの絶壁、御来光の滝・霧迫滝などの滝、紅葉淵の深淵など変化に富んでおり、その溪谷美をいっそう引き立ててみごとである。溪谷は、モミ、ツガ帯と呼ばれる中間温帯林で、植物相や動物相にも恵まれ、春の新緑、秋の紅葉は全国的にも有名である。 面河の名は、天明年間（1781～1789）松山の円光寺の僧明月の断簡に「おもご面子」と見られるのが最初といわれている。		

